

### 第3回 海老江下水処理場改築更新事業の環境監視に係る有識者会議 議事録 要旨

日 時 令和元年5月28日15時20分～17時00分

開催場所 建設局北部方面管理事務所 大会議室

出席者

(委員) 市川委員(座長)、島田委員(座長代理)、乾委員  
(事務局:建設局) 河内課長、正野課長代理、金井係長  
(事業者:海老江ウォーターリンク株式会社) 秋山統括管理責任者  
(大成建設) 沖作業所長

議 題

(1) 工事中の環境監視結果について(資料5)

会議要旨(主な意見)

(1) 環境監視の計画

・意見なし

(2) 工事内容について

・台風等の大規模災害が事前に予想される場合、特に大規模な作業では機材・機器による事故だけでなく、土壌や地下水にも影響を及ぼす可能性があるため、気象条件を見つつ、連絡体制なども整備していただきたい。

(3) 環境監視結果(常時監視)について

・これまでに騒音・振動の1次管理値、2次管理値が10回超過しているが、その際に実施した対策については、データベース化するなど、今後同様の原因で管理値が超過しないようにしていただきたい。

(4) 環境監視結果(定期監視)について

・地下水の吸水ポンプの影響でホウ素と同様にダイオキシン類も増加している可能性があるのであれば、「水中ポンプにより懸濁物質が多く吸引された可能性がある。」との内容を追記したほうがよい。  
・意図的にペリスタポンプに変更したと誤解がないように、土壌汚染対策法に基づく調査及び措置に関するガイドラインの趣旨に従い、「地下水をできるだけ乱さずに採水する。」という内容を追記したほうがよい。  
・有害大気汚染物質であるベンゼンや重金属は管理値と比較すると低い値を示しているが、工事前より増加傾向にあるので、今後も継続して監視を行っていただきたい。  
・低周波音の観測で、装置トラブルの可能性があるとのことなので、今後は適切な観測方法に見直していただきたい。

(5) 今後の工事進捗に伴う観測位置について

・騒音、振動、粉塵と地下水の観測位置を変更することに了承した。

以上